

評語付与方式

人事評価記録書(医師・医長級)例

評価期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

期末面談 平成 年 月 日

被評価者 所属: 職名: 氏名:

1次評価者	所属・職名:	氏名:	1次評価記入日: 平成 年 月 日
2次評価者	所属・職名:	氏名:	2次評価記入日: 平成 年 月 日
確認者	所属・職名:	氏名:	確認日: 平成 年 月 日

(I 能力評価)

評価項目及び行動／着眼点	自己申告 (コメント:必要に応じ)		1次評価者 (所見) (評語)		2次評価者 (任意)
	<倫理> 1 医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、全体の奉仕者として公正に職務を遂行する。 ① 責任感 医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。 ② 公正性 服務規律を遵守し、全体の奉仕者として公正に職務を遂行する。				
<知識・技術・診療> 2 医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例について、適切な診療を行う。 ① 適切な診断 医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例について、適切な診断を行う。 ② 適切な治療 困難な症例について、診断結果に基づき適切な治療を行う。 ③ 知識・技術の向上 自助努力により知識や技能を向上させ、業務上発揮する。					
<信頼関係の構築> 3 上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築する。 ① 協調性 上司・部下や他部局等の担当者と協力的な関係を構築する。 ② 説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。					
<患者等への説明・指導> 4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。 ① 役割認識 患者や家族と円滑なコミュニケーションを行う。 ② 説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。					
<部下の育成・活用> 5 部下の指導、育成及び活用を行う。 ① 業務配分 部下の配置、作業の割り振りを行う。 ② 部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。					

【全体評語等】

1次評価者		2次評価者	
(所見)	(全体評語)	(所見)	(全体評語)

評価期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

被評価者 所属: 職名: 氏名:

期首面談 平成 年 月 日
 期末面談 平成 年 月 日

1次評価者 所属・職名: 氏名: 1次評価記入日: 平成 年 月 日
 2次評価者 所属・職名: 氏名: 2次評価記入日: 平成 年 月 日
 確認者 所属・職名: 氏名: 確認日: 平成 年 月 日

(Ⅱ 業績評価)

[1 目標]

番号	業務内容	目標 (いつまでに、何を、どの水準まで)	困難	重要	自己申告 (達成状況、状況変化その他の特筆すべき事情)	1次評価者		2次評価者 (任意)
						(所見)	(評語)	
1	医療行為の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者の病状を的確に把握するため、自ら回診を行うだけでなく、若手医師や研修医、看護師に適切に指示するとともに、毎日ミーティングを行うことで情報を共有し、適宜・適切な治療を行う。 患者に対して、病状・治療方針を適切に説明し、患者の家族も含めて相互の信頼関係を築いたうえで、患者の意思を尊重した医療行為を行う。 〇〇外科業務の向上のため、〇月までに△△治療の研究を行い、今年度中に国内外の学会活動を通し、情報発信をしていく。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎日のミーティング等を通じて、若手医師及び研修医や看護師とも情報共有を進めたことで、患者の症状を的確に把握でき、適切な治療が行えた。 入院患者に病状・治療方針を適切に説明しており、患者の意思を尊重した医療行為が行えた。 △△治療の研究は〇月までに終え、院内への情報提供のほか、国内及び国外の学会においては、計〇回の発表を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日ミーティングを行い、若手医師及び研修医、看護師との情報共有ができ、適切な治療が行えていた。 入院患者に適切な説明が行えており、患者の意思を尊重した医療行為ができていた。 △△治療の研究と院内への情報提供等に加え、国内外の学会で〇回の発表を行い、医療強化を進めた。 	b	b
2	地域医療連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> △△疾病について、他の病院と連携して、〇月までに新たに地域医療連携パスを作成する。 積極的に地域医療機関を訪問し、相互の役割や専門分野を確認する。地域医療機関からの紹介状総数を昨年度より〇%増加を目指す。 周辺医療機関との積極的な情報交換を進めるため、地域で開催される事例発表会や研究会に年〇回以上参加して交流を進めるとともに、自らの研究成果について発表する。 			<ul style="list-style-type: none"> 県内の医療機関と連携をとり、△△疾病に対するパスの確立に向けた取組を実施した。 地域の開業医を訪問し、双方の役割・専門分野について相互理解し、医療連携の構築を行った。結果的に地域医療機関からの紹介状枚数が昨年度に比べて、〇%増加した。 地域で開催される研究発表会や事例発表会に積極的に参加(計〇回)し、自らの研究分野について発表した。 	<ul style="list-style-type: none"> △△疾病に対するパスを作成したことにより、患者にとっても早期退院が実現されるものと思われる。 医療機関を積極的に訪問し、お互いの立ち位置を確認しただけでなく、紹介状枚数の増加にもつながった。 年〇回の研究会等に参加し、自らの研究分野を発表するなど、情報交換を進め、地域との交流が行えていた。 	b	b
3	医療体制の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> 医師・看護師による合同研修会を〇回以上開催し、連携強化を進め、医療体制の強化を図る。 組織的に研修医や若手医師に対する指導を行うため、指導要領を△月までに作成し、効率的な人材育成を進める。 医療事故事例や危険事例の検討など、医療安全に関する研修会・報告会を〇回以上開催し、事故防止に向けた取組を進める。 当院における重要課題である〇〇医の育成のため、学会での研修への参加を促すとともに、他病院との連携を深める。 	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> 医師・看護師による合同研修会を目標を上回る△回開催することで、医療体制の強化につながられた。 若手医師や研修医向けの指導要領を△月に作成するとともに、月〇回の勉強会を定期的に開催することで、若手医師等への指導が組織的に行えるようになり、医療体制の強化に貢献できた。 〇〇医について、〇名が学会での研修に参加した。また、△△病院より講師を招いての勉強会を〇回開催するとともに、人事交流で来期からは〇名の人員を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師・看護師による合同研修会を目標を上回る△回開催するなど、医療体制強化に向けた取組を進めていた。 若手医師や研修医向けの指導要領を△月に作成したことに加え、月〇回の勉強会を開催するなど、人材育成に積極的に取り組んでいた。 〇〇医の人材育成のため、学会での研修の利用を促すとともに、他病院との連携を深めた。 	a	a
4	<p>※上記の記述はあくまで例示です。</p>							

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務への取組状況等】

番号	業務内容	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	1次評価者
			(所見)

【3 全体評語等】

1次評価者		2次評価者	
(所見)	(全体評語)	(所見)	(全体評語)